園だより　11月号

新宿区立西戸山幼稚園　令和８年10月30日発行

「知っている」は体験から

園長　佐藤　淳穂

開園65周年記念運動会～アニバーサリーパーティー～は、子どもたちが園の自然物でデザインしたガーランドが空にはためき、入場門はお祝いのケーキ仕立てでした。雨天により平日開催となりましたが、保護者・ご来賓の皆様の温かいご声援の中、子どもたちの豊かな表情がまぶしい運動会になりました。ご協力に感謝申しあげます。

もうすぐ運動会というある日のこと、園庭のトラックを走るすみれ組を感じながら、私はいちご組のＡちゃんＢちゃんとフェンスをつたう「むかご」を採っていました。毎年、自然に実る「むかご」ですが、収穫するのは初めてのことでした。「むかご」はヤマイモ科の植物にできる小さな球状の芽で秋の味覚です。塩ゆでして数粒ずついただきました。ほろにがい味わいでした。





もう少し「むかご」がないかしらと植え込みの奥へ行くと、そこで見たこともない大きなイモムシを見つけました。10センチくらいはあります。見慣れた幼虫とのサイズの違いに子どもたちも大騒ぎでした。

昨日は「新種のヤゴを発見した」と緊急の呼び出しがありました。小さな透き通ったヤゴには黒と白の縞模様があり、子どもたちは「パンダヤゴ」と名付けました。翌朝、発見者の3人は登園するなり「ヤゴの水を換えなきゃ」とせっせと池と保育室を往復していました。「脱皮してる！」Ｃさんが大声をあげました。元気に泳ぐヤゴに愛おしさを感じている様子でした。

こんなに小さな園庭でも次々に出合ったことのない生き物や出来事に遭遇します。なんと幸せなことでしょう。私たちが気付いていない自然の営みがたくさんあって、地球は人間だけのものではないことを感じる暮らしでありたいと思います。

大きなイモムシは見たこともない大きなサナギになり、無事に羽化に成功して大空に旅立ちました。はねを広げると15センチもある立派なクロアゲハでした。本当の意味での「知っている」は触れて感じることのできない画面の中にはないのです。